

学校法人育成学園 H28年度 学校関係者評価表

1. 学校の教育目標

「確かな技術、豊かな教養を身に付けた調理師・製菓衛生師の養成を通じて社会に貢献する」という教育理念のもと、卒業後食のプロとしての技術・教養を身に付け、且つ時代に適応したグローバルなものが見方ができ、「食」を通じて社会全体に貢献できる力を備えた人材の育成を教育目標とする。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

- ・退学者を減らす。
- ・全ての関係者に向かって、好感度の高い第一印象を抱いていただけるよう努める。
- ・教育方針に沿った質の高い学生の輩出。

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4	3	2	1
・学校における職業教育の特色は何か	4	3	2	1
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4	3	2	1
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4	3	2	1
・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4	3	2	1

① 課題

本校のディプロマポリシーについてここ数年は見直しが行われておらず、今一度現在の状況に適応したものかどうか、検証を行ってはどうか。

② 今後の改善方策

できるだけ早期にディプロマポリシーの見直しを行い、それに基づいたカリキュラムの一部見直しを実施することができるよう、進めていく。

③ 特記事項

(2) 学校運営

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
・目的等に沿った運営方針が策定されているか	4	3	2	1
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4	3	2	1
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4	3	2	1
・人事、給与に関する規定等は整備されているか	4	3	2	1
・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4	3	2	1
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	3	2	1
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4	3	2	1
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	3	2	1

① 課題

各種教育機器や情報システムが進化・多様化してきており、当校の運営上においても今後より有益な機器やシステムを導入できるよう、最新の動向を確認しておく必要がある。

② 今後の改善方策

当校における教育機器や情報システムの現状を今一度把握し直し、今後に向けた導入計画の策定に努める。又、調理・製菓実習の予習や復習の際に有用なEラーニングシステムの導入についても検討していく。

③ 特記事項

(3) 教育活動

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4	3	2	1
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限対応した、教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4	3	2	1
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	3	2	1
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4	3	2	1
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4	3	2	1
・関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ・実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4	3	2	1
・授業評価の実施・評価体制はあるか	4	3	2	1
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	3	2	1
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4	3	2	1
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	3	2	1
・人材育成目標の達成に向け、授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	3	2	1
・関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するなどマネジメントが行われているか	4	3	2	1
・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4	3	2	1
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	4	3	2	1

① 課題

座学の各講義については学校でしか学べないものも多いが、座学が苦手な学生が多いものと思われる。興味を持ってもらえるような取組に注力していかなければならない。

② 今後の改善方策

今後留学生の増加が予想される中、本校でもさまざまな学生が興味を持つようなカリキュラムの再構築を進めていくべきである。またそれらをわかりやすく授業展開できるよう、講義の手法にも工夫をこらしていくべきである。

③ 特記事項

(4) 学修成果

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
	4	3	2	1
・就職率の向上が図られているか	4	3	2	1
・資格取得率の向上が図られているか	4	3	2	1
・退学率の低減が図られているか	4	3	2	1
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	3	2	1
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4	3	2	1

① 課題

卒業生の社会的な活躍、評価を把握しきれていない。

② 今後の改善方策

同窓会との連携等により卒業生との交流を積極的に行い、業界との連携に結び付けていくよう努める。

③ 特記事項

(5) 学生支援

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
	4	3	2	1
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	3	2	1
・学生相談に関する体制は整備されているか	4	3	2	1
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4	3	2	1
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	3	2	1
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	3	2	1
・学生の生活環境への支援は行われているか	4	3	2	1
・保護者と適切に連携しているか	4	3	2	1
・卒業生への支援体制はあるか	4	3	2	1
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4	3	2	1
・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4	3	2	1

① 課題

卒業生の就職相談に対して個別には対応しているが、もう少し体制を強化して取り組んでいくべきではないか。

② 今後の改善方策

・インターネットを利用した卒業生就職支援体制構築を検討する。
・留学生に対する学業、生活支援体制構築を検討する。

③ 特記事項

(6) 教育環境

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	3	2	1
・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備されているか	4	3	2	1
・防災に対する体制は整備されているか	4	3	2	1

① 課題

自己評価において校舎、施設の一部老朽化が挙げられているが、一度に全てを見直すことは現実的に困難であるので、優先順位を付けて対応していくべきである。

② 今後の改善方策

- ・実習器具の入替、LED化、無線LANの導入等、具体的なプランの検討に着手していく。
- ・Jアラート発動時の対応について新たに定める必要があるので、早急に検討する。

③ 特記事項

(7) 学生の受け入れ募集

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
・学生募集活動は、適正に行われているか	4	3	2	1
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4	3	2	1
・学納金は妥当なものとなっているか	4	3	2	1

① 課題

18歳人口の減少の中、いかに学生数の確保を図っていくか。

② 今後の改善方策

- ・学校の特徴を今一度洗い直し、募集ツールに反映できるよう、制作物の見直しを行う。
- ・留学生の募集にも注力し、国際色豊かな学校運営を目指す。

③ 特記事項

(8) 財務

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	3	2	1
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	3	2	1
・財務について会計検査が適正に行われているか	4	3	2	1
・財務情報公開の体制整備はできているか	4	3	2	1

① 課題

今後更なる少子化が進行していく厳しい環境の中生き残りを図るためには、更なる設備投資、施設拡充が必要であり、それらを実行できる財務基盤を確保しなくてはならない。

② 今後の改善方策

学生数の大幅な増加を見込みにくい社会情勢である以上、経費の見直しや運営体制のスリム化等、費用の削減に努めていく。

③ 特記事項

(9) 法令等の遵守

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	3	2	1
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	3	2	1
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4	3	2	1
・自己評価結果を公開しているか	4	3	2	1

① 課題

自己評価・学校関係者評価は実施しているが、第三者評価については実施していない。

② 今後の改善方策

職業実践専門課程においても第三者評価を取り入れて行く流れがあるので、当校においてもスムーズな導入ができるよう、準備を進める。

③ 特記事項

(10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	3	2	1
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	3	2	1
・地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	4	3	2	1

① 課題

学生のボランティアについては、時間的な制限があり、限界がある。

② 今後の改善方策

学園として、無理のない範囲でボランティア活動に取り組んでいく。ボランティア活動の重要性を学生に伝える機会を設けることも重要である。

③ 特記事項

(11) 国際交流

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
・留学生の受け入れ・派遣について戦略を持って行っているか	4	3	2	1
・留学生の受け入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続等がとられているか	4	3	2	1
・留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	4	3	2	1
・学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	4	3	2	1

① 課題

日本料理の世界的な流行により、調理・製菓系専門学校に対する留学希望者は増加傾向にあることから、当校としても留学生を積極的に受け入れることのできる体制を構築する必要がある。

② 今後の改善方策

現状調理・製菓分野の業界には外国人の就労ビザが原則下りないため、留学生募集の大きな弊害となっている。ビザ取得の要件が緩和されるよう、行政に折衝していく必要がある。

③ 特記事項

毎年ヨーロッパ研修・台湾研修は順調に実施できている。